

36期 例会報告

9月例会

9月15日(金)「あなたが考えるカウンスルNo.1」

栄クラブ第36期9月例会はITCという新組織の中でクラブは多くの改革事項を抱え不安のスタートと思えました。栄クラブのプログラムは「あなたが考えるカウンスルNo.1」言うテーマを、クラブ全員がディスカッションをしながら考えようと言うものでした。ITC 宣誓は? クラブ会則の修正は? 常任委員会の選択について等等、新機構について意見が活発に交わされました。ディスカッションを通してこれからのITC 栄クラブの姿が朧げながら見えてきたように思いました。

10月例会

10月20日(金)持ち出し例会 岐阜市歴史博物館

10月持ち出し例会は岐阜城を借景にした萬松館でおこなわれました。ビジネス終了後美味しい昼食を頂いたのち、プログラムは隣接する岐阜国立歴史博物館の特別展レオナルド×ミケランジェロ展の見学でした。15世紀イタリアの二大巨匠の力量を示す上で最も重要とされる手の動きや、対象を見つめる眼差しを直接感じることでできる自筆素描画作品を中心に両者の芸術を比較する日本初の展覧会でした。レオナルドの最も美しいとされる素描(少女の頭部)やミケランジェロが手がけた日本初公開の等身大のキリスト像など約65点が一堂に会し見ごたえのあるものでした。その後、日本3大仏の1つ黄檗宗金鳳山正法寺の大仏様を参拝いたしました。この大仏は木材と竹材によって組まれた日本一の乾漆仏です。帰りには岐阜駅でJAのお野菜をたくさん仕入れ会員一同大満足で帰宅いたしました。

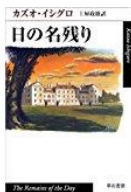
11月例会

11月17日(金)「アサーショントレーニング」

今月の例会で初めてアサーショントレーニングに挑みました。アサーション? 聞きなれない言葉に会場はざわざわ……。アサーションは「自分も相手も大切にする表現」の意味で、自己主張のより良い方法を目指します。人との対話では3つのタイプ①「おどおどさん」②「いばりやさん」③「さわやかさん」に分けられるというPLの説明を聞きました。①は自分の気持ちをはっきり述べず言いなりになる。②は自分の気持ちのみ大切に、相手の言い分を押し切る。③は自分の考えを十分に表現しながらも相手の考えを大切に話し方だそうです。2つのテーブルに分かれ、状況設定がされました。3名がタイプになりきり、一人の質問に答えます。話が大きく発展したり、ユーモアで包まれた場面だったり、皆さんの表現はお役以上に面白く、笑いの場となりました。これから頭の隅に置いて、自分のタイプにしたいのは「さわやかさん」ですね。

12月例会

12月15日(金)「ビブリオバトル」



12月例会のプログラムは、「ビブリオバトル」です。11月の例会で前もってビブリオバトルについて学びましたが、栄クラブでは初めての試みでしたので緊張しながら、発表者たちのバトルに耳を傾けました。一作目は今年のノーベル賞作家 カズオ・イシグロの「日の名残り」。二作目は 鷺沢萌作「帰れぬ人々」、三作目は、戸塚真弓作「パリからのおいしい話」でした。発表後、それぞれの本について活発に質問が出て最後に会員全員が審査員となり「パリからのおいしい話」がチャンプ本に選ばれました。皆さんがぜひ読んでみたいと思った本でした。続いて会則決議委員長がリーダーとなり、「カウンスルNo.1会則

の草案の検討」を行いました。前もって会長がメールで会員に草案の問題となる個所の検討をお願いしており、例会では次々に意見が出て検討がかさねられていきました。未来のITC-Jを見据えた今年最後のよい例会でした。

1月例会

1月19(金) ワークショップ「能への誘い」

1月例会のプログラムは、22名のゲストをお迎えしての華やかな例会になりました。「説明を聞くだけでなく、ほんの少し声を出して謡も体験してみましょう」と言う試みで案内役として観世流シテ方能楽師西村孝雄先生をお迎えして脳のワークショップ(能への誘い)を行いました。はじめに学んでみよう能と狂言として先生がご用意されたDVDを鑑賞し 続いて、出席者全員声を揃えて(羽衣)のクセの部分の謡い その後、カウンスルNo.1会長がモデルとなり 能装束と面をつける貴重な体験を見る事が出来ました。新年にふさわしいワークショップとなりました。

2月例会

2月16日(金)「カウンスルNo.1会則の修正案について考える」

2月のプログラムは、「カウンスルNo.1会則草案配信後の修正について考える」です。会則9条、細則7について修正案をカウンスルNo.1会則決議委員会に提出いたします。会員のみなさんから修正案に対するの活発なご意見が数多く提出され得ました。

3月例会

3月15・16(木・金) 野外例会 知多半島「海のしょうげつ」・ カタルタで楽しもう

3月例会は全員出席のもと、知多半島しょうげつに出かけました。名鉄電車の内海駅で下車しタクシーで山海海岸の「葡萄屋」で昼食をとりました。その後宿泊先の「海のしょうげつ」に向かいました。お部屋からは、知多の海を一望する事が出来ました。皆さんリラックスしたのち、ここでも3月例会のプログラムでもある「栄クラブ会則、細則の修正案」の審議をしっかりと行いました。野外例会野外例会とはいえ皆さん真剣に真面目に取り組ん見ました。海の幸一杯の美味しい夕食を頂いたのち、温泉に入ったりお話をしたり楽しいひと時を過ごしました。次の日は、「ミツカンミュージアム」を見学し 車窓より半田運河を見学し 帰途につきました。

4月例会

4月20(金) 声を出して戯曲を読んでみましょう！ 読み合わせと振り返りシート

4月のプログラムは、声を出して戯曲を読んでみましょう！ 箆で配役を決めたのち木下順二の「夕鶴」を、初見でその役になりきり演じました。皆さん所見とは思えぬ出来栄で、さすがITC-J会委員とよい評価を得ました。でもこれでは満足しないのが栄クラブのプログラム委員会、皆さんに「振り返りシート」をお願いしてそれを参考に5月例会でもう一度完成版「夕鶴」を再演することになりました。5月例会がとても楽しみです。

5月例会

5月18(金) 声に出して戯曲を読んで、演じてみましょう！ パワーポイントとおんがくをつかって

4月例会に続き 声に出して戯曲を読んでみましょう！ 木下順二「夕鶴」の再演です。出演者たちは其々会員全員からの 振り返りシートを参考に練習を重ね 5月例会に臨みました。夕鶴の つう、その夫 与ひょう、 与ひょうの村の友達 運ず と 惣ど、物語の進行役のナレーター、村の子供たち、とクラブ総出演での開演となりました。勿論のこと、出来は再考！！ 日頃の慎ましやかな栄クラブの会員達からは想像も出来ないような大胆な演技で拍手喝采、大満足の出来栄でした。「夕鶴」の パワーポイントの作成、それに合わせた音楽、効果音の挿入、栄クラブのプログラムに合わせて練り直されたシナリオなどプログラム委員会のご苦勞が実った5月例会でした。

6月例会

6月15日(金) 第37期役員就任式 みんなでスピーチ「アンチエイジングへの挑戦」

6月年次例会のビジネスの後、次期役員の就任式が執り行われました。オフィサーのテーマは「言葉の花園に向けて」でした。会長が今期役員に一年間の謝辞を述べたのちオフィサーは新役員に其々の役職についての務めを果たされる様確認されました。

続いての今期最後のプログラムは、「皆でスピーチ」老化に負けないこれからの自分に…論題「アンチエイジング」として会員全員がそれぞれの「アンチエイジング」についてスピーチをおこないました。来期も一年間 栄クラブ全員がアンチエイジングで元気に例会に参加いたしましょう。

36期例会報告者 横地田鶴子